

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市民球場等2スポーツ施設	施設類型	目的・機能
			I	— ②
	所 在 地	小倉北区三萩野二丁目10番1号		
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名 称	北九州野球株式会社		
	所 在 地	小倉北区三萩野二丁目10番1号		
指定管理業務の内容		1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運營業務 ・事業及び収支計画書、各種報告書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など		
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		33
(1) 施設の設置目的の達成		35	3	21
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
[評価の理由、要因・原因分析]				
【利用人員】				
区分	【参考】H30年度	R1年度	前年度比較	
北九州市民球場	114,321人	108,791人	▲5,530人	
三萩野球場	15,277人	14,675人	▲602人	
三萩野少年球場	8,627人	7,240人	▲1,387人	
計	138,225人	130,706人	▲7,519人	
目標	140,000人	145,000人		
要求水準	140,000人	145,000人		
※ <input type="text"/> ・・・評価対象年度				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数は目標、要求水準には達しなかった。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2月下旬から3月末まで利用自粛を市から指定管理者を通じて利用者に要請したことが影響したと考えられる。 ・プロ野球誘致活動によるパリーグ公式戦やオープン戦、ホークス夏の最大イベント「鷹の祭典」を開催した。 ・三萩野球場、三萩野少年球場を利用した自主事業として、福岡ソフトバンクホークスによる現役プロ野球選手を迎えての野球教室の開催や、毎週月曜日、元プロ野球選手によるホークス野球塾を実施し、青少年の技術向上やスポーツを通じた健全育成に寄与し、利用者数の増加を図った。 ・社会人野球や高校定期野球大会等の大規模な大会を誘致し、利用者数の増加を図った。 				
(2) 利用者の満足度		15	4	12
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られて				

いると言えるか。			
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

(回答数 241 人)

【施設利用について】

満足度	【参考】 H30 年度	R1 年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	95.8% (63.1%・32.7%)	99.2% (43.6%・55.6%)

【職員対応について】

満足度	【参考】 H30 年度	R1 年度
目標値	100%	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	95.8% (70.1%・25.7%)	97.9% (44.8%・53.1%)

※ ・・・評価対象年度

- ・施設利用、職員対応の満足度について、いずれも目標数値を大きく上回った。
- ・駐車場が少ないため、プロ野球開催時や大規模な野球大会時には北九州メディアドーム臨時駐車場や三萩野公園芝生広場を借りるなどして利用者の利便性向上に努めている。
- ・球場での試合やイベント情報をホームページで公開している。
- ・日頃から利用者とのコミュニケーションを大切にし、独自のアンケートを行うなどして利用者の意見を取り入れ、満足度向上に努めている。
- ・昨今の猛暑による熱中症対策のため、医務室、休憩室の整備や適切な施設利用の指導、頻繁に注意喚起の場内アナウンスを行うよう主催者に促すなど指導している。

2 効率性の向上等に関する取組み

30

18

(1) 経費の低減等

- | | | | |
|--|----|---|----|
| ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 | 20 | 3 | 12 |
| ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 | | | |

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【維持管理経費】

(単位:円)

区分	【参考】H30年度	R1年度	前年度比較
委託料	42,535,269	46,700,326	4,165,057
修繕費	1,225,497	3,993,189	2,767,692
光熱水費	18,449,527	13,554,952	▲4,894,575
人件費	19,105,504	16,290,337	▲2,815,167
その他経費	2,019,537	1,881,131	▲138,406
合計	83,335,334	82,419,935	▲915,399
予算	81,260,600	82,168,009	

※ ・・・評価対象年度

- ・備品、施設の補修・修繕、清掃等の中で、自社でできる業務は自社で行い、経費を削減している。
- ・高齢化が進む中で、経験・知識が豊かで能力の高い退職者の活用を積極的に図り、人件費の削減に努めている。
- ・女子トイレのトイレ用擬音装置導入や、男子トイレの自動洗浄機能を使わず、職員による定期清掃により節水に取り組み、水道料金を削減している。
- ・利用者に影響しない範囲で消灯し、電気代の削減に努めた。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

10

3

6

【評価の理由、要因・原因分析】

【施設使用料収入】

(単位:円)

区分	【参考】H30年度	R1年度	前年度比較
北九州市民球場	4,366,257	4,811,101	444,844
三萩野球場	1,902,100	2,283,520	381,420
三萩野少年球場	—	—	—
①実収入計	6,268,357	7,094,621	826,264
②減免額	2,041,743	3,485,889	1,444,146
③合計(①+②)	8,310,100	10,580,510	2,270,410

※ ・・・評価対象年度

- ・平成30年度と比較すると、実収入では約82万円の増額となった。これは、平成31年4月1日に使用料が改定され、利用者の負担額が大きくなったことによるもの。
- ・プロ野球誘致を積極的に行うことにより、施設収入の増加に努めた。
- ・プロ野球だけでなく、社会人野球や地域の少年野球チーム、お年寄りのグラウンドゴ

<p>ルフ利用促進により、身近なスポーツの実践の場を提供することで施設収入の増加に努めた。</p>			
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		12
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	10	3	6
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。			
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一級土木施工管理技士・技術士・衛生管理者・排水設備工事責任技術者の免許を有した人材を採用し、施設の管理に取り組んでいる。 ・毎週1回職員会議を実施し、その中で専門業者を呼んでの研修会（グラウンド維持に関する研修、防災訓練など）などを実施している。また、プロ野球暴排実務者研修会へ参加するなどして、職員の資質向上に努めている。 ・毎年1度、野球シーズン前には地域住民との打ち合わせを行い、コミュニケーションを図ることにより、トラブルやクレーム防止に努めている。 			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	6
① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。			
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計報告、モニタリングにおいて不適切な点は見受けられなかった。 ・個人情報を管理する社員に対しては、個人情報の取り扱いに留意するよう指導し、情報の管理においても徹底する管理体制で実施している。 ・半年に一度、職員全員参加の避難訓練を実施し、安全対策に取り組んでいる。 ・熱中症対策として、施設に注意喚起のポスターを掲示すると同時に、大会開催者に対し、熱中症のアナウンスを行うよう呼びかけ、注意を促している。 ・製氷機による氷の作りおきや、冷房設備の完備している部屋（本部席、選手控室等） 			

の開放等により、非常時に備えている。

【総合評価】

合計得点	63	評価ランク	C
【評価の理由】			
<ul style="list-style-type: none">・福岡ソフトバンクホークス主催の公式戦や、ホークス夏の最大イベント「鷹の祭典」を開催し、賑わい創出に寄与した。・福岡ソフトバンクホークスによる現役プロ野球選手を迎えての野球教室の開催や、元プロ野球選手によるホークス野球塾を定期的に開催することによって、プロ野球選手と直に触れ合える貴重な機会を提供し、野球技術を学ぶ機会を提供していることは高く評価できる。・地域住民と話し合いの場を設けることでコミュニケーションを図り、野球シーズン中等のトラブル防止に努めている。・施設利用、職員対応の満足度について、利用者より高い評価を得ている。・熱中症対策として、施設に注意喚起のポスターを掲示すると同時に、大会開催者に対し、熱中症のアナウンスを行うように呼びかけ、注意を促している。また、製氷機による氷の作りおきや、冷房設備の完備している部屋（本部席、選手控室等）の開放等により、非常時に備え、準備を行っている。			
【今後の対応】			
<ul style="list-style-type: none">・今後も施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。・福岡ソフトバンクホークスとの連携は引き続き密に行い、スポーツ観戦者の増加を図っていただきたい。・地域との連携事業に積極的に取り組んでいることは、大変評価できるため、今後も、様々な地域との連携事業を実施し、地域から愛されるような管理者・施設を目指していただきたい。			

【北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協同で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。